

科目名	流通システム論	科目分類	■専門科目群第1グループ □総合科目群第2グループ	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	AN INTRODUCTION TO MODERN DISTRIBUTION SYSTEM MANAGEMENT	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
ふりがな	あべ ときお	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	阿部 時男	修得単位	2単位	
授業のテーマ	生産から消費に至る流通の仕組みとその情報インフラについて理解し、現代流通の在り方を評価できるようにする。			
到達目標	流通システムの基本とグローバル企業環境での流通の役割とそれを身近な生活の問題に結び付け理解する力を養うこと。また、将来の職業選択の判断の基礎を築いてほしい。			
授業概要	現代の「流通システム」を理解する上で欠かせないことはグローバル化に伴う経営環境の変化とそこから生じる様々な課題である。それらを解決するための最新の流通戦略について製造業、卸売業や小売業の実例を用いて学習する。それは流通が諸君の身近な生活に深く関わり影響しているかを知り、流通の在り方を評価できる知識を身に付けることができる。また、ビデオ等の教材を出来るだけ多く用いてわかり易く講義する。			
授業計画				
第1回 流通システムとは（生産・消費と流通チャネル）				
第2回 流通システムとは（流通の機能）				
第3回 流通システムとは（流通と情報）				
第4回 経営環境の変化（需要変動とタイムラグ）				
第5回 経営環境の変化（計画と実績の差異）				
第6回 経営環境の変化（ブルウィップ効果）				
第7回 経営環境の変化（経済構造のパラダイムシフトと流通）				
第8回 経営環境の変化（流通経済構造の変化）				
第9回 卸売業とビジネスモデル〈卸売業の情報化〉				
第10回 卸売業とビジネスモデル〈ビジネスの見直し1〉				
第11回 卸売業とビジネスモデル〈ビジネスの見直し2〉				
第12回 卸売業の戦略同盟（アメリカと日本の例）				
第13回 卸売業の戦略同盟1）アメリカのケース（1. カテゴリーマネジメント、2. ECR ウォルマートの例）				
第14回 卸売業の戦略同盟2）日本のケース（加工食品業の例）				
第15回 卸売業の戦略同盟3）日本のケース（日用雑貨卸業の例）				
第16回 期末試験				
授業時間外の学習	普段、新聞やテレビ等で報道される日本のもの作りや流通をテーマとする記事や番組に慣れ親しむこと。			
履修条件	流通、経営学関連科目の基礎と情報処理関連科目を履修しておくこと			
テキスト	OH プリント教材（配布）			
参考文献・資料	宮下淳，他著『流通ビジネスモデル』中央経済社、市原武政 他『1からの流通論』碩学舎、田中一成著『図解・生産管理』（基本からSCM，ERPまで）、実教出版、			
成績評価の方法	授業態度、課題レポート5題、期末試験、欠席4回以上は認定対象外とする。 授業料その他納入金未納の場合は、試験を受けることができない。			
オフィスアワー	毎週水曜日午前中			
成績評価基準	平成28年度（2016）以降入学した学生 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 平成27年度（2015）以前に入学した学生 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）			
学生への	実例についての図柄教材を取り入れ解りやすく講義を進めてゆく。授業中に無許可で退出した場合は欠席と			

メッセージ	します。
-------	------